

出穂期「あきたこまち」は8月4日頃

1. 水稻の生育状況(7月17日)現在

あきたこまちの生育は、平年比で草丈96%、茎数101%、葉数-0.6葉、葉色101%で、『**茎数多め**』の状態となっております。また、葉色値が高めで日照時間や寒暖差もあったことからほとんどの品種で前回の調査より茎数が増えており、倒伏が懸念される品種等は追肥の判断を慎重に行う必要があります。

あきたこまちの幼穂長から見た出穂期は、平年並みの『**8月4日頃**』と思われます。現在、中干し中で葉色等、圃場間差が見られますが、以下を参考に今後の管理に努めてください。

水稻定点調査圃の生育状況(7月17日)

品種(平均)	草丈(cm)		茎数(本/m ²)		葉齢(葉)		SPAD	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
あきたこまち	64.5	66.9	459	456	10.9	11.5	42.1	41.6
(慣行)	63.1		439		11.0		42.4	
(側条へ-ス等)	65.7		477		10.9		41.8	
前年比	99 %		123 %		0.0 葉		97 %	
平年比	96 %		101 %		-0.6 葉		101 %	
たつこもち	65.5	66.6	471	455	11.5	11.5	43.9	44.5
きぬのはだ	60.2	63.1	641	535	11.4	12.0	37.9	40.7
ときめきもち	60.3	62.1	618	473	11.2	11.6	40.2	41.0

2. 出穂期予想[17日現在](砂地圃場は3日程度早め)

品 種 名	幼穂長(mm)	減数分裂盛期	出穂期予想	
			本 年	平 年
たつこもち	10~55	7月21日	7月31日	7月30日
あきたこまち	0~55	7月26日	8月4日	8月4日
きぬのはだ	0~10	7月30日	8月9日	8月9日
ときめきもち	0~10	7月30日	8月9日	8月9日

《幼穂長と出穂前日数並びに低温に対する強弱》

幼穂長	葉耳間長	出穂前日数	低温に対する強弱
約7cm	- 10cm	13日(減数分裂始期)	最も弱い (17℃以下が予想される場合は深水湛水で保温に努める)
約15cm	± 0cm	10日(減数分裂盛期)	

3. 今後の技術対応

- 1) 倒伏対策 [長稈・葉色値が高い圃場] [畦廻りスポット処理可能]
過剰生育等により倒伏が心配される圃場は、倒伏防止対策を考慮する必要がありますので、次の薬剤で対応してください。(各1成分)
(ロミカ粒剤) 出穂前25~10日 [散布量2~3kg/10a]
(あきたこまち：7月25日頃までが散布の目安)
(ビビフル粉剤DL) 出穂前10~5日 [散布量3~4kg/10a]
(あきたこまち：7月25日~7月31日頃が散布の目安)
(ビビフルフロアブル) 出穂前10~2日 [散布量1,000倍 100% /10a]
※ラジヘリ対応可 (あきたこまち：7月25日~8月2日頃が散布の目安)

2) 減分期追肥

出穂後に穂首が伸長する品種(あきたこまち等)の追肥を行う場合は、各自圃場の生育量・葉色等を確認のうえ、葉色が低下している圃場を主体に追肥を実施してください。減数分裂期に草丈が長く(80cm以上)、葉色値が高い圃場(SPAD値で42以上)では、倒伏の危険性がありますので、追肥を控えてください。

3) 病害虫防除

① いもち病

中干し後も葉色値の高い圃場等では、葉いもち病の発生が懸念されますので、穂首及び枝梗への感染を防ぐためにも、圃場内を確認し発生が見えた場合は、つぎの薬剤で早急に防除をしてください。

○未防除・初発生圃場

・コラトップ1キロ粒剤：[1kg/10a、出穂5日前まで]

○発生が多い圃場

※(いもち病・稲こうじ病 同時防除)

・ブラシンプロアブル：[500ml 1,000倍、水100ℓ /10a]

※(ラジヘリ対応)[8倍、800ml/10a、500cc1本で50a散布]

・ビームエイトゾル (5L)

・ブラシンゾル (500ml) (いもち病・稲こうじ病 同時防除)

② 紋枯病

過剰生育の稲(特に畦畔廻等)については、今後の天候(高温)次第で発生が懸念されますので、心配される場合は、つぎの薬剤を散布し予防してください。

出穂5日前まで モンガリット1キロ粒剤・1成分[散布量1kg/10a]

※「紋枯病・稲こうじ病同時防除」：[3日間湛水状態を保つ]

③ 稲こうじ病

特に幼穂形成期~出穂期の低温・多湿条件で多く発生しますので、心配される場合は、つぎの薬剤を散布し予防してください。前年に発生した圃場については、発生率が高まりますので防除に努めてください。

出穂10日前まで (Zボルドー粉剤DL・1成分)[散布量3kg/10a]

出穂期直後まで (ブラシン粉剤DL：2成分)[散布量4kg/10a]

④ 斑点米カメムシ類

[あきたこまち 1回目散布時期出穂後10日頃：8月14日前後] (ウンカにも効果)

スタークル 各1成分

[粉剤：散布量3kg/10a]

[液剤：1,000倍で60ℓ/10a、無人ヘリ：8倍で0.8ℓ/10a]

キラップ 各1成分

[粉剤：散布量3kg/10a]

[フロアブル：2,000倍で60ℓ/10a、無人ヘリ：16倍で0.8ℓ/10a]